中小企業景況調査報告書

令和5年10月~令和6年3月期

本調査は、瀬戸内町・宇検村の産業状況等地域の経済動向について、半期毎に実施しているものです。

1. 調査対象期間 令和 5 年 10 月 R 6 年 3 月

2. 調査方法 商工会職員による訪問及び面接調査

3. 調査対象地域 宇検村・瀬戸内町

4. 回答企業 30 企業

5. 調査項目 今期 (R5.10月~R6.3月) と前期 (R5.4月~R5.9月) ・前年同期

(R4.10月~R5.3月)を比較した際の業況・売上高・客単価・仕入 単価・資金繰りを調査。また、来期の見通しについても同項目にて

調査を実施。以下、回答数の最も多い回答を掲載。

【総括】

全体として今期の業況では特に大きな変化はないとの回答が多く集まった。しかしながら、卸小売業では業況の悪化が多く回答された。大きな変化がない中でも仕入単価の上昇は全業種で共通しており、売上高の増加傾向も仕入単価の上昇分の価格転嫁による増加とみられる。

産業別業況

	今期業況	前年(R4.10~R5.3)と比較	前期(R5.4~R5.9)と比較
建設業	ふつう	不変	不変
製造業	ふつう	不変	不変
卸小売業	悪い	悪化	悪化
飲食宿泊業	ふつう	不変	不変
その他サービス業	ふつう	不変	不変

<回答分析>

卸小売業を除く業種では業況に変化がないとの回答が多くみられたが、すべての業種において業況の悪化が業況の好転よりも多く回答されている。 仕入単価の上昇による業況の悪化が影響されていると考えられる。

①前年同期(R4.10月~R5.3月)との比較

	売上高	客単価	仕入単価	資金繰り
全体	増加	不変	上昇	不変
建設業	減少	不変	上昇	不変
製造業	同数	増加・不変	上昇	不変
卸小売業	増加・減少	増加	上昇	不変
飲食宿泊業	増加	増加	上昇	不変
その他サービス業	不変	不変	上昇	不変

<回答分析>

売上高は全体的には増加の回答が多くなった(37%)。しかしながら減少の回答も同程度ある。客単価については増加や不変が多いが、仕入単価は全業種で上昇上昇となっている。製造業や卸小売業では売上減少と仕入単価上昇による業況の悪化もみられた。

②前期(R5.4月~R5.9月)との比較

	売上高	客単価	仕入単価	資金繰り
全体	増加	増加	上昇	不変
建設業	減少	減少	上昇・不変	不変
製造業	増加	増加・不変	上昇	不変
卸小売業	増加・減少	増加	上昇	同数
飲食宿泊業	増加	増加	上昇	不変
その他サービス業	不変	不変	上昇	不変

<回答分析>

全体として売上高は増加傾向をみせた(40%)。客単価の増加、仕入単価の増加 もあることから、仕入単価増加への対応のため売上高・顧客単価の増加につな がったことが考えられる。また新型コロナウイルスが5類へ移行となったこと で徐々に観光を中心に消費が回復してきたことも考えられる。

③来期(R6.4月~R6.9月) の見通し(前年同期(R5.4月~R5.9月)と比較)

	売上高	客単価	仕入単価	資金繰り
全体	不変	不変	上昇	不変
建設業	不変	不変	上昇・不変	不変
製造業	不変	増加・不変	上昇	不変
卸小売業	増加・減少	増加	上昇	不変
飲食宿泊業	不変	不変	上昇	不変
その他サービス業	不変	不変	上昇	不変

<回答分析>

卸小売業以外の業種では、不変の回答が多くみられるが減少よりも増加の回答数が多く消費の拡大が見込まれている。仕入単価の上昇は全業種共通しており、依然として物価高騰が継続していることが伺える。卸小売業では売上高の増加と減少が同数となり業況が分かれた。

発行:瀬戸内町商工会

宇検村商工会